１・２年複式　算数　　１年「 たすのかな ひくのかな 」

本時の目標	順序や集合を数量化して考える場面が，加法の場面であることに気付き，説明する。
視点1　**ガイド学習・見通し**	学習の流れの表やガイドの手引きを活用しながら，見通しをもって学習に取り組む。
視点2　**理由が言える**	半具体物や図を使って，加法の式になる理由を説明する。
視点3　**言語活動の活性化**	順序を示す言葉を使いながら，担任に理由を説明する。

過程	主な学習活動	実際の様子
つかむ　見通す	１ 前時の学習をふりかえる。 ２ 学習課題から式や答えを予想する。 ジンベエザメが おおいています。 じんたくは，まえから 6ばん目です。 じんたくんの うしろには 3びきいます。 みんなで なんびき いるでしょうか。 ３ 学習問題を確認する。 どうして6+3の式になるのだろう。	視点１ ・ 前時の学習を振り返ることで，問題解決の流れや方法が分かり，自ら進んで学習することができた。 ・ 授業の流れを確認し，終わった項目ごとに磁石を貼らせることで，子供も教師も進行の確認ができ，学習意欲の向上につながった。 学習の流れ表→ 1 文しょうに しるしを つける。 2 しきと こたえを かく。 3 めあてを かく。 4 ブロックで あらわす。 5 ずで あらわす。 6 せつめいを かんがえる。 7 せんせいに はっぴょうする。 8 まとめを かく。 9 わかったことを ノートにかく。 10 れんしゅうもんだいを とく。
調べる　話し合う	４ 自分の考えをノートに書く。 ５ 発表する。 2年生が遠隔合同授業を行い，１年生に直接かかわる時間を増やした。	視点２ ・ 文章題のことばに絵カードを対応させながら並べる活動で，問題場面の状況を把握させた。さらに，絵カードにタイルを対応させる活動から，テープ図に置き換えて表す活動へとつなげ，式が6+9になることを理解していった。 視点３ ・ 担任と対話しながら発表させたことで，一人調べでわかったとおりに絵カードやタイルを用いて，順序よく説明することができた。また，テープ図に置き換えて，立式することができた。
まとめる　ふり返る　つぎにつなげる	６ 本時のまとめをする。 ７ 2年生に，分かったことやできるようになったことを発表する。 ８ 練習問題をとく。	【間接指導時の様子】 半具体物の操作やワークシートを活用して，一人で進める支援を行った。

成　果	視点１ 授業の始めで学習の流れを提示したり，教材を与えたりしたことで，自分で学習を進めるようになり，落ち着いた学習態度や集中する時間が長くなってきた姿に大きな変容が見られた。 視点２ 直接指導の時間を多くとることができ，絵カードやタイルの操作を通して考えを進めることができた。 視点３ ことば→絵カード→タイル→テープ図→式を対応させることで，理由を発表することができた。
課　題	・ ○○番目と○○人の場合の違いを比較させることで，式の違いを認識できる授業づくりが必要である。 ・ 間接指導時に，2年生のことが気になって集中力が切れてしまったり，席を立ってしまったりすることがあった。１年生段階での間接指導や，2年生との同時導入・終末などの指導形態等を工夫する必要がある。